

# 絶滅のおそれのある野生生物（RDB種）の種数

資料 4 - 1

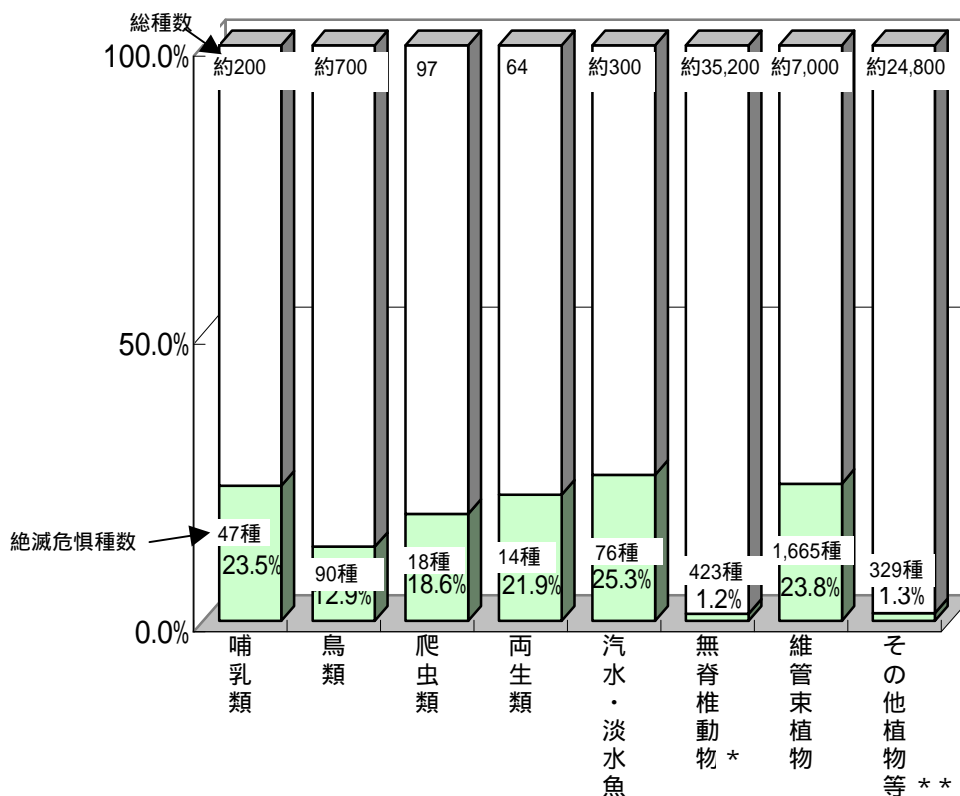
	分類群	総種数 (評価対象種)(a)	絶滅	野生絶滅	絶滅危惧種(b)	準絶滅危惧種	情報不足	(b/a)
動物	哺乳類	約 200	4	0	47	16	9	23.5%
	鳥類	約 700	13	1	90	16	15	12.9%
	爬虫類	97	0	0	18	9	1	18.6%
	両生類	64	0	0	14	5	0	21.9%
	汽水・淡水魚類	約 300	3	0	76	12	5	25.3%
	昆虫類	約 30,000	2	0	139	161	88	0.5%
	陸・淡水産貝類	約 1,000	25	0	251	206	69	25.1%
	クモ類・甲殻類等	約 4,200	0	1	33	31	36	0.8%
	動物小計		47	2	668	456	223	

植物等	維管束植物	約 7,000	20	5	1,665	145	52	23.8%
	蘚苔類	約 1,800	0	0	180	4	54	10.0%
	藻類	約 5,500	5	1	41	24	0	0.7%
	地衣類	約 1,000	3	0	45	17	17	4.5%
	菌類	約 16,500	27	1	63	0	0	0.4%
	植物小計		55	7	1,994	190	123	

動物・植物合計			102	9	2,662	646	346
---------	--	--	-----	---	-------	-----	-----

注：種数には亜種・変種を含む

## 分類群毎の総種数に対する絶滅危惧種数の割合 (b/a)



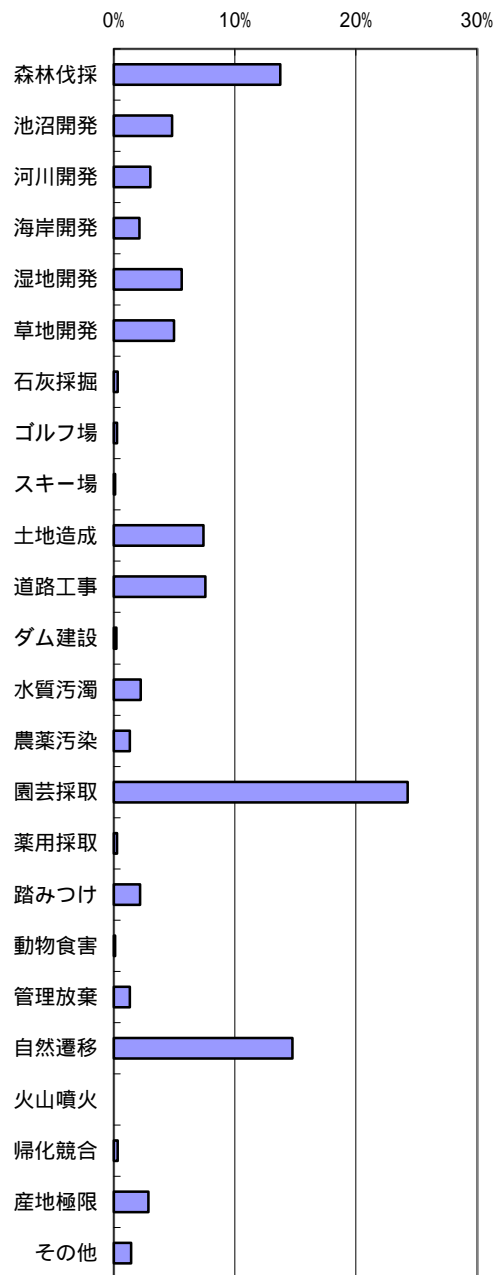
\* (昆虫類、陸・淡水産貝類、クモ類・甲殻類等)

\*\* (蘚苔類、藻類、地衣類、菌類)

出典：「総種数」は環境省、植物分類学会等による。「絶滅のおそれのある種数」は、環境省レッドブック等による。

## 絶滅のおそれのある植物の減少要因

	回答メッシュのべ数	割合
森林伐採	2339	14%
池沼開発	811	5%
河川開発	502	3%
海岸開発	353	2%
湿地開発	947	6%
草地開発	845	5%
石灰採掘	45	0%
ゴルフ場	37	0%
スキー場	5	0%
土地造成	1257	7%
道路工事	1283	8%
ダム建設	30	0%
水質汚濁	371	2%
農薬汚染	217	1%
園芸採取	4137	24%
薬用採取	40	0%
踏みつけ	365	2%
動物食害	12	0%
管理放棄	218	1%
自然遷移	2514	15%
火山噴火	3	0%
帰化競合	45	0%
産地極限	476	3%
その他	238	1%
	17090	100%



出典：環境省「レッドデータブック植物」（2000）

\* 「回答メッシュのべ数」とは、植物版レッドデータブック作成調査の一環として行った専門家アンケートによって、絶滅のおそれのある種（RDB種）の分布する2次メッシュ(10km四方)毎の減少要因について得られた回答